

甲南女子大学研究紀要第三十三号目次

(国文学・国語学部門)

『別所記』の虚構性	松 林 靖 明	(1)
大正期京阪の講談	菊 池 真 一	(17)
—— 京都日出・大阪毎日両新聞に見る——		
『十訓抄』(会話文)の敬語	泉 基 博	(93)
—— せ(させ) 給ふ・給ふ・ら(らる)——		

(英米文学・英語学部門)

スパイの Harriet	島 式 子	1
—— Louise Fitzhugh の残像——		
過去を表す時制形式	梅 原 大 輔 甲 斐 基 文 杉 浦 茂 夫	15
英仏比較文法の試み(その5)		

(フランス文学・フランス語学部門)

古期フランス語の副詞 <i>mout</i> の盛衰	森 本 英 夫	43
—— <i>beaucoup</i> および <i>très</i> との交替を巡って——		

(人間関係部門)

神秘体験と日常世界	芦 田 徹 郎	61
産業啓蒙家の女子職業教育論	三 好 信 浩	85
—— 女性と産業の教育関係史 第1報——		

(教養部門)

高齢者のスポーツ活動における

継続要因に関する研究	岡山 田 明 山 内 照 表 孟 代 宏	115
——高齢者ソフトテニス大会出場者の事例より——		

(家政学部門)

冷戦終結に伴う社会生活環境の変化	浅 田 祥 司 Iwona ARABAS	131
I. ポーランドの学術環境	Jacek ARABAS	
ルイーゼ・オットー＝ペータースの生涯 (Ⅲ) ...	采 女 節 子	141
——ドイツ工業化時代における女性就業問題(2)——		
研究活動報告書		151